

～ 大谷風神祭をもっと楽しむためのリーフレット ～

大谷風神祭行列の解説と見所



■**盛砂（もりずな）** 新しい山砂を道の真ん中に点々と盛り、道の清めと道標にしています。お神輿が通るまでは踏んではいけません。ご利益が来るように各家にもつながっています。

■**花火打ち上げ** 江戸時代から続き県内で最も古い歴史を誇ります。昔、火薬は医者を取り扱うもので、大谷の白田内記家の白田医者と、外記家の濱田医者が競って上げていました。大正14年まで花火を製造していた歴史もあります。

■**消防団** ロウソクをたくさん灯す風神祭の防火と治安維持および行列の総指揮を務めています。

■**高張提灯（たかはりちょうちん）** 先頭は総指揮を務める消防団、次に大谷連合区の高張提灯が行列を先導します。

■**天狗** 神輿の白山大神様の道案内をしています。神話の天孫降臨でニギノミコトを案内した猿田彦神のこと。露払いの獅子と一緒に歩きます。

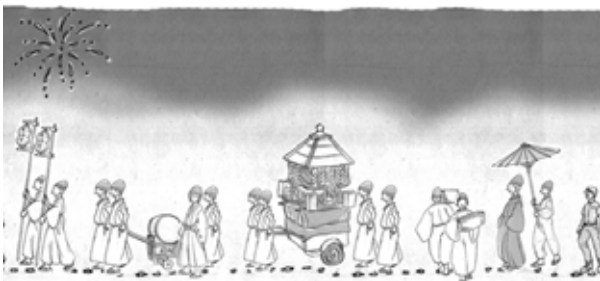
■**代々神楽（おかげら・獅子神楽）** 白山大神様が通る道の悪魔を祓い清める役割の暴れ大獅子。勢いあまって観客も祓ってしまうことがありますのでご注意ください。



■**田楽提灯（でんがくちょうちん）** 大谷の風神祭といえば田楽提灯行列。区ごとに小学生が提灯を持って歩きますが、児童数が減ったために地区外からの応援参加もあります。昔は200人以上の列だったそうです。提灯の絵は、アニメものが多いですが凝ったものもあり、ロウソクの灯りに透かし出されてきれいです。

■**楽人（がくじん・太鼓）** 昔は、太鼓、鳳笙、ひちりき（笛）、の三管がそろって歩いていたらしいです。

■**御神輿（おみこし）** 白山大神様が乗っていらっしゃるの柏手を打ってお参りしましょう。神様は本来、光が苦手。大谷は夜に静々と進む古式に則った神輿渡御です。四隅に四神の提灯があるのも珍しいそうです。昔は4人で担いでいました。



■**御行李（おごうり）** 御神輿にお参りする時のお賽銭は、この行李（籠）に入れます。

■**宮司（ぐうじ・神職）** 神輿の後ろにお伴して神様を守っている。豊嶋宏行宮司。

■**長柄傘（ながえのかさ）** 宮司の後ろからさしかけて守る魔除けの赤い傘です。



■**角田流大谷獅子踊り（切幕獅子・第4区浦小路）** 200年前に仙台藩角田（現宮城県丸森町）より伝承された県指定無形民俗文化財の供養獅子です。戦後、廃れかかっていたが、昭和47年に若者達が保存会をつくり復活させました。雄獅子と雌獅子に友獅子がちょっかいを出して喧嘩になる物語を舞います。獅子頭の山鳥の尾羽2本が雄獅子、0本が雌獅子、1本が友獅子。太鼓は頭に日天・月天・星・風（風車）の飾り。

■**屋台（やたい）** ※平成29年現在

趣向をこらした出し物を村内6ヶ所で演じます。（裏面地図参照）

- ・立小路（第1区）流行のダンス&仮装。当日参加大歓迎。子供はお菓子をもらえます。
- ・田中（第2区）日本昔話。原作を裏切る展開になることも。乱闘シーンが必ず入ります。
- ・高木（第3区）大人顔負け子供暴れ獅子と、迫力あるばちさばきの風神太鼓。
- ・峯壇（第5区）テレビで人気の時代劇。その年の話題や事件を題材にしています。
- ・東（第6区）風神神輿。手づくりの神輿は毎年進化。寒河江の神輿会も応援にきます。



今年（平成29年）の行列順と屋台演じ物

◎大行列 白山神社午後7時出発 ■峯壇（第5区）天狗様（猿田彦命）にお神楽（大獅子）→

■白山神社御神輿巡行 → ■名物子供手作りの『田楽提灯』行列 → ■浦小路（第4区）山形県無形文化財指定『角田流大谷獅子踊り』 → ◆峯壇（第5区）屋台 時代劇シリーズ第32回『暎の母』 → ■東（第6区）屋台 『風神花笠神輿』 → ■立小路（第1区）屋台 『立小路46』 → ■田中（第2区）屋台 『花咲かじいさん』 → ■高木（第3区）屋台 『風神太鼓』と『子供神楽』

※『子供神輿』（午後2時大谷往来館出発） 打ち上げ花火 211 発

■**提灯とお供え物** 各家の玄関先の田楽提灯を見て歩くのも楽しいです。お供え物は、縁側に小机を置いてお灯明、赤飯、果物、野菜、初穂料を載せています。

■発行 / 大谷風神祭シンポジウム実行委員会 ■制作 / NPO 法人朝日町エコミュージアム協会

■絵 / 「平成大谷風神祭絵巻」 作・安藤ゆふみ（立小路）より抜粋

